



# タイ・ランシット大学オンラインVR留学

## 群馬大学短期オンライン留学プログラム

実施日: 2023年3月6日~2023年3月13日  
 実施方法: Spatial のAuditorium(バーチャル空間)  
 発表者: 理工学部 物質・環境類 1年 森 まどか



### 目的

国際センター企画のオンライン留学プログラムに参加した。タイのランシット大学(図1)の方々と英語で交流を行い、3D ソーシャルネットワークのSpatial内で自身のアバターを用いて未来のスマートホームを考えることを目的として取り組んだ。

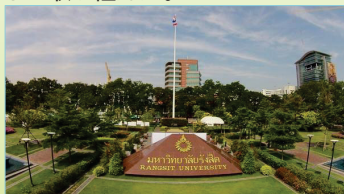


図1 ランシット大学(左)とその校章(右)

### 事前予習

#### ①特別講演の予習

具体的には事前に配布された資料のスライドの中で分からない英単語を調べたり、各自質問を英語で2つ考えたりした。

#### ②3/7~3/10のGroup Projectで出てくる以下の言葉の予習

- Wi-Fi mesh system
- Voice assistant platform
- Wireless security alarm system
- Smart lighting
- Smart heating and cooling system
- Smart smoke & co monitoring system
- Smart home automation functionality

### 実施スケジュール

#### 2023/3/6 自己紹介、アバター作成

Group A,Bに分かれてZoomのブレイクアウトルームでお互いを自己紹介した。紹介する項目はニックネーム、学科、趣味、好きなタイ料理(日本料理)であった。Spatialという最大の3D ソーシャル ネットワークで VR を使用し、自身のアバター(図2)を作成する方法を学んだ。

#### 2023/3/7 特別講演

Spatial のAuditorium を用いてAnuchit Nirapai先生(College of Biomedical Engineering, Rangsit University) による特別講演「Smart home and homecare service technology」を拝聴した。HL7などの医療システムや未来の病院はどのように進化するかを学んだ。医療は人間の代わりにロボットなどの機械が担えるのだ。拝聴後、クリップボードに掲載されたスマートホームと関連付けられる以下の社会問題の中から各Groupで一つずつ選択した(図3)。

- Social isolation
- Physical limitations
- Health issues
- Memory loss
- Home safety(発表者含むGroup Bが選択)
- Financial constraints
- Transportation(Group Aが選択)



図2 発表者のアバター

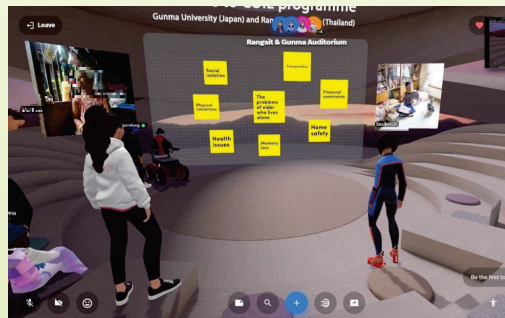


図3 テーマ決め

#### 2023/3/8~10 Group Project

各Group、TeamsというMicrosoftのソフトを用いて 身体が不自由な人のための未来のスマートホームを考案した。寝たきりの人の代行ロボットにあれば便利な機能についてランシット大学の学生と議論し合った。研修中、ランシット大学の学生の圧倒的な英語力に感嘆した。また少し発音や文法が間違っているにもかかわらず積極的に発言する大切さを学んだ。

#### 2023/3/13 最終発表

Spatial のAuditorium の中でGroupで考えた未来のスマートホームを発表した。自身が所属していたGroup Bは寝たきりの人でも日常生活を送れるようなスマートホームを提案した。料理などの家事代行だけではなくピアノ演奏という娯楽も提供できるアンドロイドを考え(図4)。

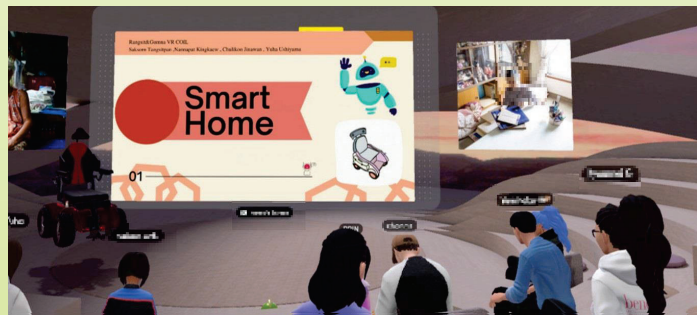


図4 最終発表

### 学習した点

#### 発音や文法にこだわりすぎないこと

研修中、ランシット大学の学生の圧倒的な英語力に感嘆した。私は以前より英語のReadingとWritingは得意でSpeakingが苦手分野であったので、ランシット大学の学生が話される英語は思いのほか速く、知らないフレーズがたくさん飛び交いSpeakingを克服するのに良い機会だった。

#### 関わりのない分野だからといって発言を躊躇しないこと

最初は、物理が苦手であるため、医療工学は無縁なものであり私の意見は役に立たないと感じていた。だが、話し合いの時、その分野とは関わりのない自分の意見でもヒントになることを知り、思い込みで躊躇せずに、何事にも積極的に動いて発言しようと思えるきっかけになった。

#### 英語力の成長

知っているボキャブラリーの枠を超えて、どんどん新しい英語を吸収し使う姿勢の重要性を学び、実践したことで英語力も成長できた。留学の経験で英語力が伸びたのと同時に、英語への壁が取り除かれた。

### 今後への展望

今回の留学で自分と縁のある分野だけではなく、多様な分野に目を向けることを知った。私の将来の夢は研究職である。もしかすると海外で研究するかもしれない。今回オンラインを通して海を越えた人々と意見共有することを体験して、そのような考えが浮かんだ。今後は日本ではなく海外で行われている研究にも着目したい。また今回の留学では、海外に触れることはグローバルな視点を持つことにも繋がる、ということを実感できた。日本人は、協調性を重んじるあまりなかなか自分の意見を押し通すことができない。日本以外に住んでいる人の考え方に触れることで、思わぬ打開策に巡り会える。